

CONE プレ・シンポジウム

-ジェンダー平等を意識した自然体験活動における指導者の役割

公益社団法人ガールスカウト日本連盟
秋山 和沙

00. 今日の研修内容



一般社団法人ガールスカウト日本連盟 副会長 秋山 和沙(あきやま かずさ)

小学校1年生からガールスカウトの活動に参加。
ガールスカウトでは、神奈川県で指導者として子ども達とともに活動実施。また 트레이ナーとして指導者養成も行っている。

同団体が、内閣府男女共同参画局と協働制作した「meandthem」(対象学年:中学生以上～)では、制作メンバーとして参加。

普段は、教育サービス系の企業にて教材の企画開発に従事している。

▼テーマ

ジェンダー平等を意識した自然体験活動における指導者の役割

- ①【情報共有】ジェンダーに関する女子中高生調査…P5～10
- ② 指導者が取り組めることは何か？…P11～15

①【情報共有】ジェンダーに関する女子中高生調査

自然体験活動含め無意識のうちに、性別の違いによる特定の役割や行動などに対し、思い込みや偏見をもっていないか？



①【情報共有】
ジェンダーに関する女子中高生調査

①【情報共有】ジェンダーに関する女子中高生調査

▼調査概要

* 全国の中学生・高校生年代の女子

* 調査期間:2023年11月14日～12月17日

* 調査方法:インターネット回答・全36問(小項目合計:62問 選択44問 記述18問)

* 回答数:1563人

中学生764人(ガールスカウト会員385・会員外379、男女共学709・女子校54)

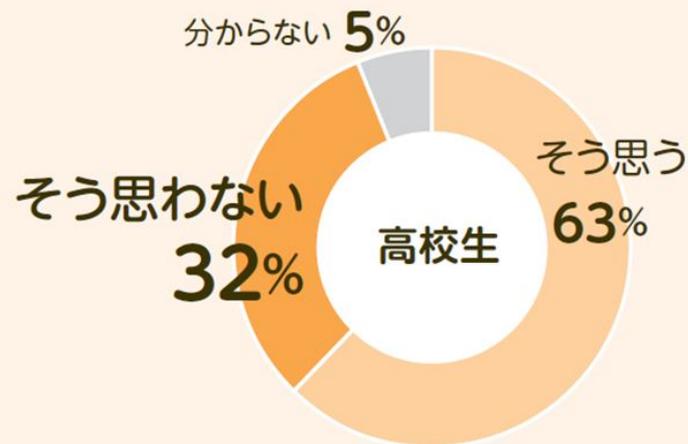
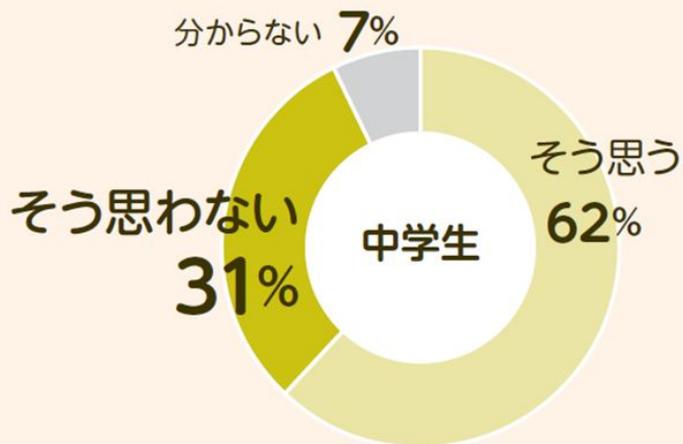
高校生799人(ガールスカウト会員326・会員外473、男女共学619・女子校177)

※詳細資料は[こちら](#)

①【情報共有】ジェンダーに関する女子中高生調査



学校の先生は、女子と男子に平等に接していると思いますか



そう思う=とてもそう思う、まあそう思うの合計

そう思わない=まったくそう思わない、あまりそう思わないの合計

※ [属性：女子校] の回答を除外しています。

①【情報共有】ジェンダーに関する女子中高生調査



過去のデータと比較

この設問は、過去に男女共学の女子高校生を対象に調査したデータがあるので、同じく男女共学の数字で比較します。

2020年の調査は高校生のみを対象としていました。

学校の先生は、女子と男子に平等に接している

そう思わない

23%

高校生

分からない 5%

そう思わない

32%

高校生

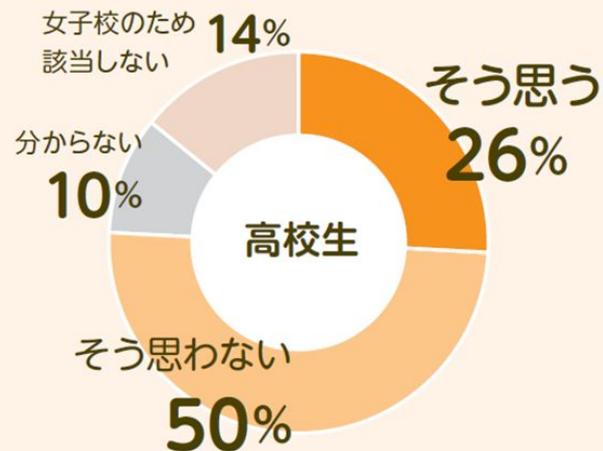
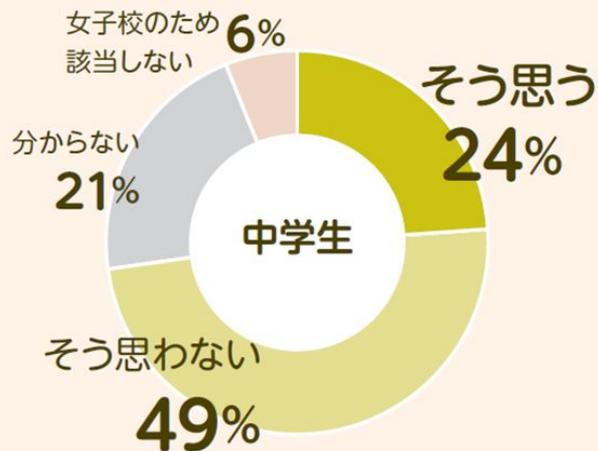
そう思う

63%

数字はガールスカウト日本連盟発行『「ジェンダー」に関する女子高校生調査報告書 2020 ～声をつな

①【情報共有】ジェンダーに関する女子中高生調査

Q 学校の先生は、役割や進路などに対して、
女子と男子に異なる対応をしていると思いますか



そう思う=とてもそう思う、まあそう思うの合計

そう思わない=まったくそう思わない、あまりそう思わないの合計

①【情報共有】ジェンダーに関する女子中高生調査

Q 「女の子だから」何かをしなくていいと言われたことはありますか

中学生

「ある」を選択した人は誰に制限を受けたり、期待されたりしましたか（複数回答）

ある
40%



高校生

「ある」を選択した人は誰に制限を受けたり、期待されたりしましたか（複数回答）

ある
52%



②指導者が取り組めることは何か？

② 指導者が取り組めることは何か？

- 1) ジェンダー平等に関する意識の向上と教育機会の提供
- 2) 平等な参加の促進と役割機会の提供
- 3) 子どもたちの権利と性の多様性を考える

② 指導者が取り組めることは何か？

1) ジェンダー平等に関する意識の向上と教育機会の提供



中高生向け

[meandthem](#)



小学生向け

[わたしとみんな](#)

② 指導者が取り組めることは何か？

2) 平等な参加の促進と役割機会の提供



子どもたちや参加者が、ジェンダーに関係なく、平等に野外活動や体験活動を通して積極的に学び、成長できるようにファシリテートをおこなう

② 指導者が取り組めることは何か？

3) 子どもたちの権利と性の多様性を考える

ガールスカウト日本連盟
子どもの保護と安全に関する
成人会員ガイドライン

ガールスカウト運動は、少女と女性にとって、より幸せな社会と未来の実現を目指しています。
少女と女性の幸せと安全を脅かす「暴力」や「虐待」から子ども（※1）たちを保護するための方針、そして大人（※2）の行動のルールとして、日本連盟では2015年5月に『子どもの保護と安全に関する行動規範』を定めました。
このガイドラインでは、上記の行動規範の考え方を基に、全国のガールスカウトの大人が子どもの権利を尊重すること、そして、子どもたちが安全に活動できる環境を整えるために必要なことについて説明します。

※1 本ガイドラインでは、「子ども」とは乳幼児および18歳未満の児童・生徒と高校生年代の若者のことを指します。
※2 「大人」とはガールスカウトの成人会員と保護者を指します。国、都道府県連盟、地区、日本連盟のすべての活動にかかわる本人のことです。

やくそく	おきて
私は 神（仏）に対するつとめを行い 地域と国と世界への責任を果たし 人に役立つことを心がけ ガールスカウトのおきてを守ります。	1. 私はいつも明るく、勇気をもちます。 2. 私はいのちあるものを大切にします。 3. 私はすべての人の友達となり、他のガールスカウトとは姉妹です。 4. 私は礼儀を正しくします。 5. 私は時間と資源を大切に使います。 6. 私は自分で考え行動します。 7. 私は言葉と行いに責任をもちます。 8. 私は謙実であるように努めます。

 girl scouts

『子どもの保護と安全に関する成人会員ガイドライン』の策定

→ガールスカウト世界連盟で設けているチャイルドプロテクションポリシーや子どもの権利条約を参考に制作

「性の多様性」の対応の検討

→弊団体としては、目下方針策定中。男女関係なくジェンダーに関する問題や不安を共有・サポートできる体制、環境づくりが今後多くの教育団体に求められるのではないかと





girl scouts